

# 東邦大学医療センター大森病院臨床研修プログラム

## 大森・選択専攻科目

### 総合診療感染症科（4週以上）

#### 1 研修プログラムの目的と特徴

- 1) 感染症の診断、治療法の基本を研修する。
- 2) 病院内伝播が問題となる病原体（薬剤耐性菌、結核、麻疹、インフルエンザ、ノロウイルス等）の感染者・保菌者への対応を研修する。
- 3) HIV 診療について研修する。
- 4) 血液培養陽性症例への対応を研修する。
- 5) 抗菌薬の適正な使用について理解を深める。

#### 2 プログラム管理運営体制

総合診療・急病センター（感染症科）にて本プログラムの管理運営を行う。

#### 3 教育プログラム

##### 3-1 研修期間と研修医配置予定

研修期間は4週以上（選択）である。感染症コンサルテーション診療に従事するとともに、総合診療内科と協同して入院・外来患者の診療にあたる。

##### 3-2 一般目標（GIO）

臨床医に必要な感染症の基礎知識を身に付け、感染症の診断・治療、病院内感染症や薬剤耐性菌への対応、抗菌薬の適正な使用を行う事ができる。

##### 3-3-1 行動目標（SBOs）

- 1) 感染症患者の病歴・診察所見から主要な感染症、起炎菌について鑑別を挙げる事ができる。
- 2) 感染症の検査を適切に実施し、結果を正しく解釈する事ができる。
- 3) 抗菌薬の選択、用法用量、投与期間を適正に計画し、治療効果を判定する事ができる。
- 4) 病原体の感染経路と予防策を理解し、院内感染防止のため行動できる。
- 5) カテーテル管理と血流感染症に対して適切に対応できる。
- 6) HIV の病態・治療法・日和見感染症について理解できる。

##### 3-3-2-A 経験すべき診察法・検査・手技

- ・手指衛生、個人防護具の着脱
- ・血液培養採取
- ・腰椎穿刺
- ・各種検体のグラム染色

- ・培養結果と薬剤感受性の正しい解釈

### 3-3-2-B 経験すべき症状、病態、疾患

- ・敗血症
- ・感染性心内膜炎
- ・カテーテル関連血流感染症
- ・髄膜炎
- ・深部膿瘍
- ・骨髄炎
- ・結核
- ・性感染症
- ・HIV 感染症
- ・高度薬剤耐性菌感染症
- ・輸入感染症

### 3-3-2-C 特定医療現場の経験

- ・内科1次、2次救急
- ・性感染症の予防指導
- ・ワクチン接種（指導を含む）
- ・小児、周産期の感染症コンサルテーション
- ・終末期医療における感染症対応

### 3-4-1 学習方略（LS）

#### 1) 病棟業務

- ・担当患者の診察、アセスメント、診療計画立案とカルテ記載。検査、処方オーダー。
- ・感染症コンサルテーション患者の診察とカルテ記載。
- ・血液培養陽性患者の診察。

#### 2) 外来業務

- ・内科1次、2次救急対応
- ・総診外来（問診）
- ・HIV 外来（見学）

#### 3) 感染症検査

- ・血液培養採取
- ・腰椎穿刺
- ・グラム染色
- ・培養結果と薬剤感受性のアセスメント

#### 4) カンファレンス・勉強会

- ・ HIV／感染症カンファレンス（毎週 月曜日 14：00～16：00）
  - HIV感染症、感染症コンサルテーション症例の症例検討
- ・ 総合診療科カンファレンス（毎週 月曜日）
  - 総診内科、外科、感染症科の入院症例検討
- ・ 朝カンファレンス（毎日 8：30～9：00）
  - 夜間休日の内科新入院症例検討
- ・ チームカンファレンス（毎日 16：00～）
  - 入院担当患者とコンサルテーション症例についての病態や検査結果の解釈、診療方針に関する臨床研修指導医とのディスカッション
- ・ 土曜勉強会（毎週 土曜日）
  - 内科的な一般症候や病態、検査、治療学についての論文的考察を交えた勉強会

### 3-4-2 週間スケジュール

時間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
8：30～9：00	朝カンファ	朝カンファ	朝カンファ	朝カンファ	朝カンファ	朝カンファ
9：00～12：00	病棟診療	救急外来	病棟診療	総診外来 (問診)	病棟診療	病棟診療 血培陽性者 ラウンド
13：00～14：00	血培陽性者 ラウンド	血培陽性者 ラウンド	血培陽性者 ラウンド	血培陽性者 ラウンド	血培陽性者 ラウンド	チームカン ファ
14：00～16：00	HIV/感染症 カンファ	病棟診療	HIV 外来 (見学)	病棟診療	救急外来	
16：00～17：00	チームカン ファ	チームカン ファ	チームカン ファ	総合診療科 回診	チームカン ファ	
	総合診療科 カンファ			チームカン ファ		

### 3-5 評価（EV）

研修期間を通じ以下について臨床研修指導医、感染管理部員（医師、看護師、薬剤師、検査技師）、微生物検査室技師、微生物感染症学講座教員、ソーシャルワーカーの評価を受ける。

- ・ 感染症の病態、病原体、感染症検査法についての知識
- ・ 血液培養、髄液穿刺時の清潔操作と血液曝露対策に関する手技
- ・ 培養検査、薬剤感受性の解釈と抗菌薬の適正使用についての理解
- ・ 手指衛生、標準予防策、経路別予防策についての知識と手技
- ・ カテーテル管理と血液培養陽性者への対応についての理解
- ・ HIV 患者の医療的、社会的な問題に対するチーム医療への理解

### 3-6-1 指導体制

- ・臨床研修指導医に加え感染管理部員（医師、看護師、薬剤師、検査技師）、微生物検査室技師、微生物感染症学講座教員、ソーシャルワーカーの指導を受ける。
- ・病院内伝播が問題となる病原体への対応について、感染管理部員の指導を受ける。
- ・グラム染色など基本的な検査法について、微生物検査技師の指導を受ける。
- ・血液培養陽性症例について、感染管理部員とともにカテーテル管理や抗菌薬投与が適切に行われているかどうかをチェックする。
- ・HIVカンファレンス、HIV外来（見学）にて、HIV感染症に対するチーム医療を学ぶ。

### 3-6-2 臨床研修指導医

臨床研修指導医 宮崎 泰斗

### 3-6-3 協力施設

東邦大学医学部 微生物・感染症学講座